

## 第3章 計画を推進するための取組

第2次計画期間において、本市では、先に掲げた3つの基本方針に基づいて、子どもの読書を推進していく様々な取組を実施していきます。

### 基本方針1 子どもの発達段階に応じた読書支援をします

#### <取組の方向>

人は、本に触れ、本を読むことで、使える言葉の数を増やし、様々な知識を得、読む力や書く力を育てます。また、今まで知らなかった世界を知り、興味を深め、想像力を高めていくことができるようになります。

このことから、子どもの発達段階に応じて読書に親しめる機会を日常生活の中で継続して持つことができるよう、子どもに関わる各施設が連携・協力し、読書支援に取り組みます。

#### ①乳幼児期における取組

自分一人で本を読むことのできない乳幼児にとって、身近な家族との、楽しく安心できる読み聞かせは、読書を身近なものとし、自然な形で少年期・青年期の自主的な読書活動へとつなげていくための大切なステップです。

幼稚園・保育園は子どもたちが家族以外の人と多くの時間を過ごす場所です。家庭とは違う雰囲気の中で、多くの友達と一緒に絵本や物語の世界を楽しむことは、想像力や言葉を豊かにし、心の成長に大切なものです。

#### <具体的な取組>

取組	内 容	関係課
赤ちゃんと絵本の出会い事業	・保健センターでの3か月児健康診査の機会を活用し、ボランティアと協働で、読み聞かせの大切さを伝えるとともに、読み聞かせに役立つ「読書手帳」を配布します。また、希望する親子に対して貸出券を発行し、ファーストブックの貸出しを行います。	保健センター 図書館
乳幼児向けおすすめ本リストの配布	・乳幼児を対象とした読書案内を毎月作成し、市内の各園や児童センター、図書館来館者向けに配布するとともに、図書館ホームページにも掲載します。	図書館
保護者向け講座の実施	・乳幼児の発達段階に合わせた絵本の紹介や読み聞かせのこつなどを伝える絵本講座等を行い、保護者の家庭での読み聞かせを支援します。	図書館

<p>幼稚園・保育園・こども園での読書支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育園・こども園の職員等による読み聞かせやおはなし会を積極的に行ないます。</li> <li>・子どもたちの関心や興味を広げられるよう、図書館からの巡回文庫、団体貸出による本を読み聞かせに活用します。</li> <li>・図書館職員が園のリクエストにより、季節やイベントに合わせた内容で出張読み聞かせを行い、子どもたちに読み聞かせの楽しさを伝えます。</li> <li>・市内の私立幼稚園・保育園への読書支援について検討を進めます。</li> </ul>	<p>幼・保・こども園 図書館</p>
<p>児童センター(館)での読書支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童センター(館)職員等による読み聞かせやおはなし会を積極的に行います。</li> <li>・子どもたちの関心や興味を広げられるよう、図書館からの巡回文庫、団体貸出による本を読み聞かせに活用するほか、図書館による親子向けブックトークを継続して受け入れます。</li> </ul>	<p>子育て支援課 図書館</p>
<p>市立図書館での読書支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや職員による、定期的な読み聞かせ会やおはなし会を行います。</li> <li>・親子で参加できる行事を開催し、本や図書館の楽しみ方を伝えます。</li> </ul>	<p>図書館</p>

<数値目標>

	具体的な取組	令和元年度 現状値	令和7年度 目標値
<p>「あかちゃんとしょかん」での貸出券登録率の向上</p>	<p>3か月児健康診査受診者の貸出券登録率を向上させ、図書館を継続的に利用してもらうきっかけづくりとします。 (発行率=貸出券の発行枚数/全受診者数)</p>	<p>54.7%</p>	<p>60.0%</p>



あかちゃんとしょかん

## ②就学期における取組

子どもが読書に興味を持つためには、本と出会い、読書の楽しみを知る機会を数多く作ることが大切です。そのために、子どもの生活に密着した様々な施設において、読書環境を整備し、子どもの自主的な読書活動を支援する必要があります。

学校は、子どもたちが多くの時間を過ごす場所であり、学校図書館は、子どもたちが本と出会うきっかけとなる場所です。また、授業の中で様々な文章を読んだり、本を使っていろいろなことを調べたりするほか、朝の読書タイムに代表される全校一斉の読書活動は、子どもが本と結びつく大切な時間となります。司書教諭や学校図書館担当教諭を中心に、全教職員が子どもの読書活動の意義を理解し、読書活動の推進に関わっていくことが不可欠です。

また、学校以外の場所として、図書館や、放課後児童クラブ、地域の貸出文庫などでも、子どもたちへの読書支援が必要です。

### <具体的な取組>

取 組	内 容	関係課
<b>学校における 読書活動の 推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書習慣が定着するよう、「朝読」の継続実施、学校における「読書週間」の設定など、日常的な読書活動を進めます。</li> <li>・教員、職員、PTA、ボランティアなどによる児童・生徒への読み聞かせ・ブックトークなど、本に親しむ機会を積極的に提供します。</li> <li>・小学校高学年が低学年の子どもに読み聞かせを行う「ペア読書」、図書委員等の子どもたちが企画してみんなと一緒に 行う「としょかんまつり」、お気に入りの本を紹介し合う「ビブリオバトル」など、子ども同士で読書活動を行う機会をつくれます。</li> <li>・学校だよりや学校公開日などを通じて、家庭における読書（＝「家読（うちどく）」）の大切さを保護者に伝えていきます。</li> <li>・児童・生徒が読書を身近に感じることができるよう、積極的に読書週間をPRする事業や、多読児童・生徒への表彰など、学校図書館を中心にした読書関連行事に積極的に取り組みます。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">小中学校</p>

学校等への読書支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(学校ブックトーク) 学校のリクエストにより、市立図書館司書が授業内容やイベントに見合った内容で訪問ブックトークを行い、子どもたちに読書の楽しさを伝えます。</li> <li>・(調べ学習お届け便) 学校のリクエストにより、授業内容やイベントに合った内容の本を市立図書館が選び、学校に届けます。</li> </ul>	図書館
「家読」の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開日などで、保護者を対象に、読書の楽しさ、意義や大切さを伝え、家庭で子どもと読書を楽しむ「家読」についての啓発を行います。</li> </ul>	図書館
読書通帳の配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を習慣づける取組として、読書通帳（読書した本を記録する冊子）を作成し、市内の全小学生に配付します。</li> </ul>	小学校 図書館
小学1年生への貸出券作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館へ来館するきっかけづくりとして、希望する小学1年生に対し、学校を通じて貸出券の発行・配布を行います。</li> </ul>	図書館
読書案内の作成・配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生から中高生までを対象に、年齢別のお薦め本や新しい本の紹介、読書の情報を盛り込んだ読書案内を作成・配布します。</li> <li>・夏休みなど学校の長期休業前には、行事の案内やお薦め本等を掲載したチラシを作成し、図書館内で掲示・ホームページへ掲載するほか、学校に配布します。</li> </ul>	図書館
子ども向け行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ会をはじめとした子ども向け行事を充実させ、子どもが読書を楽しめる機会の拡充に努めます（新規行事の企画、定例行事の拡充など）。</li> <li>・行事の案内方法を工夫し、図書館利用に不慣れな保護者や子どもにも参加してもらえるよう働きかけます。</li> <li>・読書を習慣づける取組として、市立図書館では希望する利用者に対して読書通帳を配布します。記帳完了でスタンプを押印することで子どもたちに達成感を与え、さらなる読書意欲を高めます。</li> </ul>	図書館
放課後児童クラブ等への読書支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の長期休業中でも読書環境が保てるよう、夏休み期間に放課後児童クラブを対象とした簡易児童図書文庫を設置し、継続的な読書活動を呼びかけます。</li> </ul>	子育て支援課 図書館
貸出文庫の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館から離れた地域に住む子どもたちが読書の機会を得られるよう、貸出文庫を設置します。</li> </ul>	生涯学習課 図書館

<p>南吉童話賞・南吉読書感想画への取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書によって培われる想像力を、自分でお話を作る楽しみに発展させるきっかけの一つとして、新美南吉記念館が主催する新美南吉童話賞への応募を働きかけます。</li> <li>・読書感想画は、読書の感動を絵で表現するものです。南吉作品に親しむきっかけとして、新美南吉読書感想画コンクールへの応募を働きかけます。</li> </ul>	<p>小中学校 新美南吉記念館 図書館</p>
--------------------------	--	---------------------------------

### <数値目標>

	具体的な取組	平成 27 年度 実績値	令和元年度 現状値	令和 7 年度 目標値
ブックトークの促進	各学校等の要望に応じて行うブックトークの実施回数の増加をはかります。(訪問学級数/年)	202 学級	173 学級	200 学級
子ども向け行事の充実	本に興味を持つきっかけとして、図書館で行う行事の充実をはかります。(子ども向け行事の参加者数)	8,337 名	7,376 名	8,000 名

## 基本方針 2 子どもの読書環境の整備・充実をはかります

### <取組の方向>

子どもが、どんな時でも、どんな場所でも、読みたいと思った時に読書に親しめることが、読書の習慣づけにはとても大切です。

まわりの大人たちは、子どもが意欲的に読書活動に取り組むことができるよう、子どもの読書環境づくりに努めることが求められます。

### <具体的な取組>

取 組	内 容	関係課
絵本・児童書の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書意欲を高めるため、知的好奇心を満たす幅広い分野にわたる絵本・児童書を収集し、蔵書の充実に努めます。</li> </ul>	図書館
親子で利用しやすい図書館づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳室、ベビーカー置き場、ベビーカー貸出など、乳児と一緒に安心して利用できる環境を整えます。</li> <li>・書架の配置、図書の排架などを工夫し、保護者も子どもと一緒に楽しめる環境の整備に努めます。</li> </ul>	図書館

<p>学級文庫・学校図書館の整備、利用促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館や学級文庫に豊富で多彩な蔵書を確保するよう努めます。また、図書館が届ける巡回文庫も利用し、子どもたちへの本の提供に役立てます。</li> <li>・司書教諭や学校図書館担当教諭が中心となり、学校図書館と図書館資料についての利用指導を行うとともに、児童・生徒が積極的に学校図書館を使いたいと感じられるような、図書館の整備・宣伝に努めます。</li> </ul>	<p>学校教育課 小中学校</p>
<p>司書教諭・学校図書館担当教諭の配置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館及び図書館資料についての利用指導を行い、児童・生徒が積極的に学校図書館を使いたいと感じられる環境を整備するため、引き続き、司書教諭や学校図書館担当教諭を各学校に配置します。</li> </ul>	<p>学校教育課</p>
<p>南吉作品に親しめる環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半田出身の童話作家・新美南吉の作品により親しみ、郷土への愛着を深められるよう、常に南吉作品に触れられる環境づくりをおこないます。</li> <li>・南吉記念館では南吉に関する出前授業を、図書館では訪問ブックトークを積極的に行い、南吉作品に触れる機会を増やします。</li> <li>・授業で「新美南吉童話 集団読書テキスト」や副読本「南吉のふるさと」を活用します。</li> </ul>	<p>小中学校 新美南吉記念館 図書館</p>
<p>中高生向け読書環境の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館離れ・活字離れが心配される中高生向けに、手にとりやすく読みやすいライトノベルをあつめた本のコーナー（ティーンズコーナー）の充実を図ります。</li> <li>・SNS等インターネットを使って中高生に直接本の情報を伝える方法を研究します。</li> </ul>	<p>図書館</p>
<p>外国語児童資料の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母国語が日本語でない児童・生徒にとって、言語が読書の壁とならないよう、また、将来ある子どもたちが国際的な視野を広げるきっかけとなるよう、外国語資料の収集に努めます。</li> </ul>	<p>図書館</p>
<p>電子図書の導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館しなくても読書ができる電子書籍の導入に向けて、環境を整えます。</li> </ul>	<p>図書館</p>
<p>貸出文庫の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童図書の充実を図るとともに、地域によって受けられるサービスに偏りがでないよう、バランスのとれた配本となるよう努めます。</li> </ul>	<p>図書館</p>

## <数値目標>

	具体的な取組	平成22年度 実績値	平成27年度 実績値	令和2年度 現状値	令和7年度 目標値
学校図書館 における児 童図書の充 実	各学校図書館に配置する児童 図書の数が減らないよう、留 意して配本・除籍を行います。 (市内13小学校・5中学校の 平均蔵書数、各「学校経営案」 より)	小学校 11,818冊 中学校 15,821冊	小学校 12,111冊 中学校 16,805冊	小学校 12,370冊 中学校 16,298冊	小学校 12,500冊 中学校 16,500冊
児童図書の 充実	児童図書の数が減らないよ う、留意して配本・除籍を行 います。 (図書館・巡回文庫・貸出文 庫に設置の児童書所蔵冊数)	130,130冊	130,829冊	125,697冊	128,000冊

## 基本方針3 読書活動への理解、関心を高めるための啓発をします

### <取組の方向>

本を手に取り、読み進めていくのは子ども本人ですが、つねに本に手が届くよう配慮し、環境を整えていくのは、周りにいる大人の務めです。子ども読書活動の推進には、その意義や役割を家庭、学校、関連施設等に周知し、十分に理解してもらうことがとても大切です。

### ①読書活動推進体制の整備への取組

多くの子どもたちに本を身近に感じてもらえるような環境づくりを進めるためには、周りで協力してくれる大人を増やし、巻き込み、大きな読書環境の輪で子どもたちを包み込み、慈しんでいくことが必要です。子ども読書活動推進に向けた様々な施策や事業も、各施設が単独で行うだけでは高い効果は期待できません。家庭や学校、関連施設、ボランティア団体とも連携・協力し、市全体で取り組むことが、大きく読書推進を図る力となっていきます。

特に、読み聞かせやストーリーテリングなどを行うボランティア団体は、図書館の大切なパートナーであり、ともに読書推進活動を進めていきます。

## ＜具体的な取組＞

取組	内 容	関係課
ボランティアとの協働による行事の企画・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体との協働により、行事を企画・実施します。</li> <li>また、既に実施している行事については、内容の充実や広報活動の強化に努めます。</li> <li>・ボランティア団体から行事などを提案しやすい雰囲気づくりに努めます。</li> </ul>	図書館
ボランティア団体間連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体同士の情報交換の場を設け、連携体制の構築を図ります。</li> </ul>	図書館
ボランティア育成講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書活動の重要な担い手となる、読み聞かせやストーリーテリングを行うボランティア育成の強化を図るため、講座等を充実させます。</li> <li>・各種講座や研修の内容等を職員やボランティア間で共有し、ともにスキルアップできる体制の整備を図ります。</li> </ul>	図書館
職員の養成研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の専門的な研修への参加や職場内での研修の実施などにより、児童サービスに精通した職員を増やします。</li> </ul>	図書館
市立図書館と学校図書館の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館に関わる職員と市立図書館職員の合同研修を行うとともに、各学校の運営状況などについての情報交換会を設定、運営します。</li> </ul>	小中学校 図書館
保護者向けの講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本講座や児童文学講座など、保護者を含め子どもの本に興味を持つ人を対象にした講習会等を実施し、子どもの読書活動の啓発に努めます。</li> </ul>	図書館
図書館見学や職場体験の受入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館を知ってもらい、本を身近に感じてもらえるよう小学生を対象に図書館見学の受け入れや子ども司書体験などの行事を行います。</li> <li>・本への関心を高めるため、幼稚園や保育園、こども園等へ図書館見学を積極的にPRし、見学を受入れます。</li> <li>・図書館や読書に興味を持ってもらえるよう、夏季休業などに行われる中学生の体験学習を積極的に受け入れます。</li> </ul>	小中学校 幼・保 こども園 図書館

## ②読書活動に関する広報や、啓発活動強化への取組

子どもの読書環境をサポートする人をより多く、また、より良い方向に巻き込むためには、広報が大変重要です。より効果的な広報のあり方、発信について研究を進めます。

＜具体的な取組＞

取 組	内 容	関係課
「読書の日」等における啓発	・「子ども読書の日」や「読書週間」に、子どもが参加できるイベントを実施し、読書への関心や理解を深めるとともに、子どもの読書活動について広く啓発・周知します。	図書館
広報の充実・SNSの活用	・市の広報誌やホームページ、SNSなど各種媒体を活用し、図書館行事や、刊行物の広報を行います。また、図書館だけでなく、貸出文庫、児童センター、子育て支援センターなどの活動についても、ホームページ、SNSなどで広報、周知を図れる体制づくりを行います。 ・SNSについては、読書離れ・図書館離れが多い中高生や若い保護者等に向けての活用方法などの研究を進め、実践していきます。	図書館
図書館キャラクターの活用	・半田出身の絵本作家・間瀬なおかた氏が生み出した図書館キャラクター「ブックくん」「しおりちゃん」のイラストを広報に活用し、親しみやすい図書館をPRします。	図書館

＜数値目標＞

	具体的な取組み	令和2年度 現状値	令和7年度 目標値
児童向けの行事に関わるボランティアの養成	・子ども読書活動の重要な担い手となるボランティアの養成講座等を開催し、図書館ボランティアの登録人数を増やします。	123名	130名



ナイトライブラリー